



證券櫃檯買賣中心
Taipei Exchange

Introduction to
Taipei Exchange

Introduction

TPEX

タイペイエクスチェンジ

OVERVIEW

世界銀行から中小企業支援に最も実績のある取引所として

2,400+ を超える発行会社がTPEXを通じて資本市場に参入

上場企業の多様化 産業クラスターの形成

64%+ を越える上場企業が電子産業及びバイオテクノロジー・医療業

上場企業の収益性が着実に成長

2% 配当利回りが2%を越える
上場会社は約6割

債券ETFの発行規模はアジアで1位

台湾元 2兆元 発行規模は現在もなお成長を続ける

グリーンファイナンスの推進実績とサステナビリティ
報告書が国際的評価を獲得

CBI「グリーンボンド取引所」賞

ASRA 2021:

受賞

- 「アジアサステナビリティ報告書アワード（公共部門）」金賞
- 「アジア統合報告書アワード」金賞
- 「アジアサステナビリティ報告書アワード（CEOメッセージ）」銀賞

国際機関に参加 世界的動向に対応

**積極的
に参加**

IOSCO（証券監督者国際機構）協力会員

WFE（国際取引所連合）会員

AOSEF（アジア・オセアニア証券取引所連合）会員

CCP Global（グローバル中央清算機関協会）会員

CBI（気候債券イニシアティブ）会員

ICMA（国際資本市場協会）会員

イノベーションと中小企業支援に 最も実績のある取引所



設立以来、2,400社を超える発行会社の資本市場参入を支援

1994年の設立以来、1,922社の興櫃(エマージング)市場参入、1,379社の上場市場参入を支援し、累計で2,400社を超える発行会社の資本市場参入を支援してきました。2023年12月末現在、上場会社数及び上場登録会社数はそれぞれ816社、329社とすでに1,000社を超え、順調に成長しており、世界銀行からも中小企業支援に最も実績のある取引所として認められています。



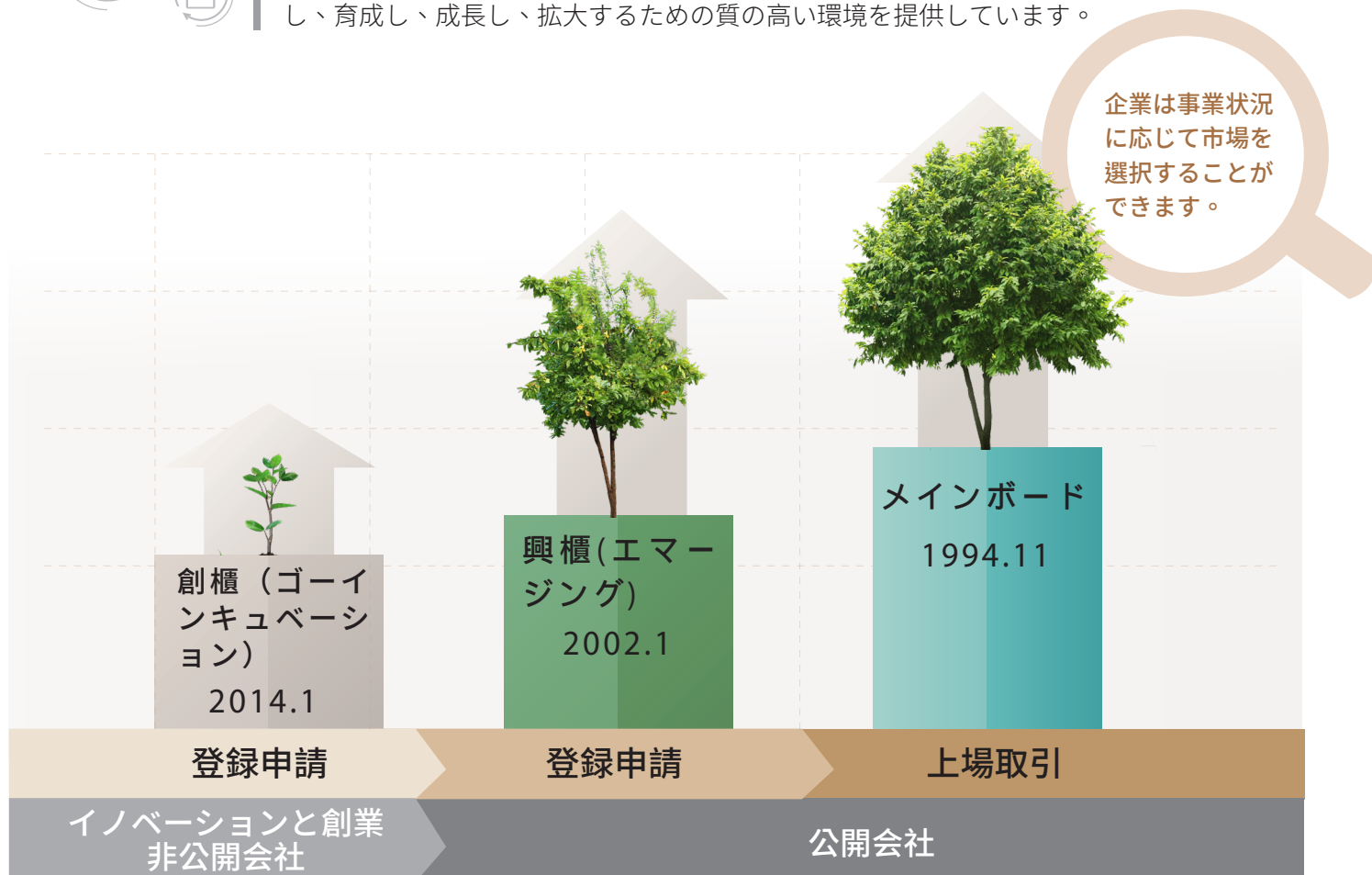
上場会社の時価総額は台湾元5.7兆元以上、興櫃(エマージング)登録会社の時価総額は台湾元1兆元以上

2023年12月末時点の最新のWFE統計によると、当センターの上場銘柄数は68取引所中17位で、上場会社全体の時価総額は台湾元5.7兆元を超え、興櫃(エマージング)登録会社の時価総額は1兆台湾元を超えています。



多層的な市場構造を完備

「メインボード」、「興櫃(エマージング)」、「創櫃(ゴーインキュベーション)」という多層的な市場区分の確立を通じて、あらゆる発展段階にある企業が資金調達し、育成し、成長し、拡大するための質の高い環境を提供しています。



イノベーションと中小企業支援に 最も実績のある取引所



上場企業の多様化 産業クラスターの形成

バイオテクノロジー・医療、農業技術、文化クリエイティブ、インテリジェントマシン、グリーンエネルギー・環境保護、モノのインターネット、クラウドコンピューティング、防衛・航空宇宙などの重要産業に従事する企業のTPEx市場への参入を積極的に推進し、米国、日本、シンガポール、マレーシア、ベトナム、タイ等の国々にも足を運び、海外の優良企業の台湾での上場と興櫃(エマージング)登録を促進しています。今日、上場企業の発展は多様化し、特色ある産業クラスターを形成しており、そのうち電子産業とバイオテクノロジー・医療産業が70%近くを占め、近年は特色ある産業の上場を推進し続けています。

万全な特色ある 産業チェーン

グリーンエネルギー・ 環境保護

グリーンエネルギー
循環経済
汚染防止

製造業およびその他

電気機械
金融
文化クリエイティブ(ゲーム)
ゴルフセット
観光・旅行

電子産業

半導体 (IC設計)
情報 (通信)
光エレクトロニクス

バイオテクノロジー・医療

農業・バイオテクノロジー
遺伝学およびバイオテクノロジー
医薬品研究開発
医療

デジタル・クラウド

電子商取引
クラウドコンピューティング
ビッグデータ

企業にとっての成功へのゆりかご

多層的な市場構造を完備 多様な資金調達手段

- ◆ **創櫃（ゴーインキュベーション）** は、小規模・零細企業を支援し、株式公開、興櫃(エマージング)への登録、上場申請など、段階的なプロセスを提供します。
- ◆ **上場店頭公開準備市場としての「興櫃(エマージング)市場」** は、投資家にいち早く接触し、会社の知名度を高めます。新興市場への登録を申請する国内の発行体は、公募届出を合わせて提出することができ、また、興櫃(エマージング)市場への登録を申請する海外の発行体は、公募届出を合わせて提出する必要があります。前記の公募届出は、いずれも一般募集又は簡易公募の仕組みを選択することができます。
- ◆ **「メインボード」** は活発に取引されており、株価収益率と売買回転率は合理的です。
- ◆ **「多様な商品」** により、発行体は株式、債券（転換社債を含む）、優先株式など、様々な資金調達手段をフレキシブルに運用することができます。

親しみやすい環境と透明性の高い審査プロセス

- ◆ あらゆる規模と発展段階にある企業に適した上場環境。
- ◆ 上場審査は迅速かつ透明性が高く、原則として上場申請書の提出から上場審議委員会の承認まで6週間以内に完了します。
- ◆ 親切で柔軟な上場条件：「テクノロジー事業」の上場申請者には、設立2年、黒字決算という上場条件の制限を設けず、より多くのベンチャー企業の円滑な資金調達を支援します。
- ◆ 合理的な上場コスト。
- ◆ 上場後、再度の資金調達（SPO）がしやすい。

上場後もサービスを継続して提供

- ◆ 優良上場会社と協力して国内外で決算説明会を適時に開催し、会社の知名度を高めます。
- ◆ 企業ニーズを積極的に把握するため、定期的に発行者間の親睦会や上場会社への実地訪問を企画しています。
- ◆ 企業が果たすべき重要事項を再認識させ、最新の法規制について更新するための説明会を開催します。

活気あるセカンダリー・マーケット 企業イメージの価値を向上

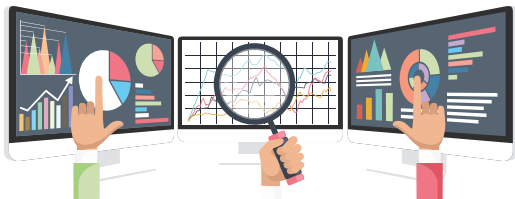
- ◆ 高い売買代金回転率、セカンダリー・マーケットの良好な流動性が発行体の発行コストを低減します。
- ◆ 企業の価値を適切に反映した合理的な株価収益率を有します。
- ◆ セカンダリー・マーケットでの活発な取引は、会社のブランディングに有利で、様々な分野のビジネス・パートナーや人材を惹き付けます。

効率的なセカンダリー・マーケット 投資家の信頼を確保



市場取引の良好な効率性

取引効率を向上させ、かつ国際標準に合わせるため、2020年3月23日より、上場株式は始値と終値を決定する際に板寄せ方式で売買を行う以外、日中の取引時間帯はザラバ方式で売買を行っており、注文が入るとその都度取引を行うため、取引効率が高くなります。



透明性の高いマーケット情報

透明性のある上場会社の関連財務業務、株主総会及び配当金の付与、コーポレートガバナンス及び重大情報等重要情報を公開しています。



配当利回りが**2%**を超える
上場会社は約**6割**

2023年12月末時点で配当利回り2%以上の店頭会社は488社で、上場会社全体の約6割を占めており、ファンダメンタルズの良好な上場会社の多くが競争力をフルに発揮し、安定した利益を上げ、投資家に還元していることが分かります。



活発な市場、高い流動性

2023年の売買代金回転率は313.08%に達しており、市場の流動性は高く、投資効率の向上に役立っています。投資家別では、法人が約30%、自然人が約70%を占め、取引に熱心で精力的な投資家が多くなっています。2023年12月末時点の最新のWFE統計によると、上場株式の売買代金は71取引所の中で18位でした。

上場会社のコーポレート・ガバナンスおよび持続可能な発展の 促進における著しい成果

アジア企業統治協会（ACGA）は「CG WATCH 2023」レポートを発表し、台湾をアジア地域で3位にランク付けしました。当センターは、長年にわたり上場会社のコーポレート・ガバナンスと経営の質の向上を推進しており、「株主権益の保護と株主の平等な待遇」、「取締役会の体制と運営の強化」、「情報の透明性の向上」、「持続可能な発展の促進」の4つのカテゴリーに基づき、様々な評価指標を設定し、上場会社に対して評価を実施するとともに、毎年評点区分を分けて対外的に公表しており、これまでに9回実施し、今後も継続的に推進していく予定です。当センターは、監督官庁による「上場会社の持続可能な発展のための行動計画」、「上場会社の持続可能な発展のためのロードマップ」、「持続可能な情報開示のためのIFRS適用の青写真」、「コーポレート・ガバナンスのための青写真」等の政策に沿って、上場会社による持続可能な発展の積極的な実施を促進するため、上場会社による温室効果ガスインベントリの実施、炭素削減目標・計画の設定、持続可能な情報開示の質の向上を継続的に支援し、上場会社の持続可能な発展を促進しています。

SDGs債市場の促進

センターのSDGs債の青写真



SDGs債専用ボードの開設

監督官庁による「コーポレートガバナンス3.0持続可能な発展のための青写真」、「グリーンファイナンス行動案3.0」、「資本市場の青写真2021-2023」の推進に伴い、当センターは2021年4月29日にソーシャルボンドの店頭取引システムを開始し、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドをSDGs債の専用板に統合しました。2022年7月には、サステナビリティ・リンク・ボンド（SLB）の店頭取引システムも創設され、我が国におけるSDGs債の商品範囲はさらに充実しています。

SDGs債の発行総額

は台湾元**5,300**億元を突破

2023年12月末現在、SDGs債の発行総額は5,319億台湾元に達しており、うちグリーンボンドの発行数は計120本、約台湾元3,574億元。ソーシャルボンドの発行数は計22本、約台湾元546億元。サステナビリティボンドの発行数は計38本、約台湾元1,120億元。サステナビリティ・リンク・ボンドの発行数は計5本、約台湾元79億元となっています。発行体は外国政府、国内銀行、外資系金融機関、国有企業、国内外民間企業など様々です。

友好的な企業に対し

持続可能なモデルチェンジのための資金調達を支援する債券市場

SDGs債市場に対するサービスの深化と拡大を継続するため、当センターはSDGs債市場のプロモーターとして、市場における企業の持続可能なモデルチェンジのための資金調達を支援する重要な役割を引き続き担っています。当センターは、SDGs債市場に関する豊富な情報を提供するため、SDGs債の専用ウェブサイトを開設したほか、発行体や投資家へのインタビュー、メディア報道、説明会、セミナーなどを通じて、持続可能な投融資の概念とメリットを市場に伝え、より多くの組織にSDGs債市場に参入してもらえよう、我が国のSDGs債市場の活性化と深化に努めています。

国際競争力のあるSDGs債市場の構築

サステナビリティの国際的な最新動向を常に追跡しながら、市場システムを改善し、国際基準との一致を図り、さらに、我が国のSDGs債と国際システムとの合致性及び国際間の交流や協力の促進、そしてSDGs債の商品範囲の継続拡大によって、海外の著名な機関や企業に台湾での債券発行に魅力を感じてもらうことにつながっています。これにより、我が国のSDGs債市場の参加者数は拡大し、我が国のSDGs債市場及びその発行体の国際的な知名度や露出度は高まっており、台湾のSDGs債市場のマーケティングが実現すると共に、我が国の市場参加者と海外機関との交流が促進されています。

金融商品の持続的なイノベーション



債券ETFの発行額は約台湾元2兆円でアジア太平洋地域で1位

2017年に初の外国債券ETFが上場されて以来、2023年12月末現在、合計81本の債券指数連動型ETFが当センターに上場し、取引されており、その発行総額は約台湾元2兆元であり、アジア太平洋地域の証券取引所の中で最多となっています。債券ETF全体の配当性向のパフォーマンスを見ると、2023年通年の上場債券ETFの平均配当性向は4.47%となっています。セカンダリー・マーケットについては、2023年12月末現在、債券ETFの1日平均取引額は台湾元50.71億元に達し、1年間の取引者数

は延べ130万人と、2022年比で779%の伸びを示し、自然人、ディーラー、機関投資家を対象としています。当センターはまた、2023年に上場ETFの二重通貨取引メカニズムを開始しており、これは、投資会社がNTD ETFに米ドルまたは人民元を追加し、連動する通貨で取引・決済できるようにするもので、これにより、外貨を保有する国内外の投資家が投資を行いやすくなり、外貨建て資産配分のニーズを満たすことができます。

TPExの特徴的な指数を継続的に研究

2019年3月、当センターは、時価総額と流動性を有する上場株200銘柄を構成銘柄とする「TPEx 200 Index」を発表しました。この指数は、上場市場全体の動向を認識するとともに、台湾の中小型株を示す最適な指標であり、2020年以降も、当センターは、「TPEx 200 Index」の構成銘柄を基礎として、「TPEx RGA Quality 50 Index」、「TPEx Semiconductor Leaders Total Return Index」、「TPEx 200 Total Return Index Daily Return Leveraged 2X Index」などの各種指数を開発してきました。2023年、当センターはFactSetと協力し、気候変動への耐性をテーマとした台湾初の指数である「TPEx FactSet Climate Resilience Index Series」（3つの指数を含む）を開発し、上場株式指数の開発をより多様で豊富なものにしています。

また、証券市場の持続可能な発展という目標を推進するため、近年、当センターは台湾指数会社（Taiwan Index Plus）と協力して、「TIP Taiwan TPEx ESG Index」、「TIP Customized TPEx ESG Growth Total Return Index」、「TIP Customized TPEx ESG IT



銘柄の種類	証券コード	銘柄略称
ETN	020041	兆豊半導体気候関連N
	020040	元大上場ESGリーダーN
	020035	元大上場ESG高配当N
	020027	元大上場ESG成長N
	020026	兆豊上場ESG電子エリートN
ETF	00928	中信上場ESG 30

Elite Total Return Index」、「TIP Customized TPEx ESG High Dividend Total Return Index」、「TIP Customized TPEx ESG 30 Index」、「TIP Customized TPEx ESG Market Leader Total Return Index」などの指数を発表し、それぞれ上場ESG ETNやETFのトラッキングターゲットとして利用されています。2023年末現在、店頭ESG ETNは5銘柄、店頭ESG ETFは1銘柄（「TIP Customized TPEx ESG 30 Index」が発行するETFに連動）が上場しており、当センターは今後も投資力を通じて持続可能な金融の好循環の発展を推進していきます。



TPEX

住所：台北市ルーズベルトロード二段100号15階

電話: 886-2-2369-9555 ファックス: 886-2-2369-5517

電子メール: server@tpex.org.tw

FB: <https://www.facebook.com/TaipeiExchange>

アドレス: <http://www.tpex.org.tw>

統計は2023年12月31日時点のものです

出版番号：11-10908001

